

様式2

令和4年度 学校評価の4点セット

3学期最終稿

日田市

立

いつま小

学校

令和5年3月20日

【学校の教育目標】

夢に向かってねばり強く取り組み、互いに磨き、慈しむいつまっ子の育成

【育成を目指す資質・能力】 自他を意識して表現できる力

重点目標	評価	達成指標	評価	重点的取組	取組指標	評価	次年度への改善点	
【知識及び技能の習得】 基礎基本を身に着けた児童の育成	4	<ul style="list-style-type: none"> 単元末テストの国語「漢字・言葉」の観点、算数「知識・技能」の観点の正答率を78%以上にする。 <結果> 国語…81.9% 算数…85.6% 児童アンケートで「運動することが好きでこれからも続けたい」と回答する割合を95%をめざす。 <結果> 肯定的回答…86% 	4	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 担任は、週初め学習習慣の指導を行う。また、ドリルタイムで5回、担任を入れ替えて実施して子どもの様子の確認と徹底を図る。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の徹底の取組を4月から行き、意識づける。また、担任が入れ替わっての指導を4月後半から実施。(1年生以外) 基礎体力向上に向けて継続。 体育の年間目標に沿って、体力向上を継続。 1校1実践である「元気タイム」の内容を見直して実施。 P T A研修部を中心に継続して実施。 	
				<ul style="list-style-type: none"> 基礎体力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が、朝の会で握力・ハムストリングの指導を行い、基礎体力の向上を図る。 			4
				<ul style="list-style-type: none"> 「音読」力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が、長縄の取組を通して児童が運動に興味を持つ指導を行う。 全職員が、元気タイム(1月～2月)で縄跳びの指導を行い、基礎体力の向上を図る。 			
				<ul style="list-style-type: none"> 保護者が学期に1回「リレー式親子音読」に取り組み、感想の交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が、学期に1回「ふれあいデー」で、日記を親子で読み、コメントを書き、全体で交流する。 			4
【思考力、判断力、表現力等の育成】 自分の考えを伝えようとする児童の育成	4	<ul style="list-style-type: none"> 教職員評価、保護者アンケートで「児童が自分の考えをわかりやすく伝えられた」と回答する割合を80%以上にする。 <結果> 教職員評価…100% 肯定的回答…100% 	4	<ul style="list-style-type: none"> 新大分スタンダードを基に問題解決的な学習展開の授業の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 授業者は、算数科でわかりやすく「書く」「伝える」を位置づけた単元指導計画を立て、実践する。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 「書く」「伝える」「まとめ」「振り返り」を意識した単元指導計画を立て、授業を実践する。 P T A研修部を中心に継続して実施。 地域の方をゲストティーチャーに派遣していただくと同時に、地域に出向く活動を行う。 	
				<ul style="list-style-type: none"> 「書く」力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会を通して、各教科・総合的な学習の時間等に学期2回以上、ゲストティーチャー、学習サポーターを派遣する。 			4
				<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動への参画 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートで「自分の考えをつくり、友だちに伝えよう」と意識できる算数科の授業づくり 			
【学びに向かう力、人間性等の涵養】 進んで行動でき、自他を思いやる児童の育成	4	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートで「自分の考えをわかりやすく伝えよう」と回答する割合を80%以上にする。 <結果> 肯定的回答…97% 教職員評価、児童アンケート、保護者アンケートで「思いやりのある言葉づかいができた」と回答する教職員・児童を90%以上、保護者を65%以上にする。 <結果> 教職員評価…100% 児童アンケート…97% 保護者アンケート…77% 	4	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりのある言葉遣いの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやりある言葉遣いの推進」に関する生活目標を示し、担任は月1回以上振り返りをしながら取り組む。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 生活目標に位置付けて、次年度も期間を決めて実施する。 毎月実施する曜日を決めて、実施。(実施日を職員室に掲示) 保護者と連携して次年度も実施。 継続して、見守り活動の充実を努める。 	
				<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の取り組みの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 1/20、2/17、3/10の3回、保護者が家庭学習に目を通し、子どもの学習の様子を確認する。 			3
				<ul style="list-style-type: none"> あいさつ運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が「ふれあい登校」に参加し、あいさつを通して児童との交流に努める。 			
				<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方があいさつ運動や見守り活動を通して児童との交流を深める。 			3
【働き方改革の推進】 業務の精選と時間の確保	4	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務時間を月平均30時間(管理職を除く)以内にす。 <結果> 1月…13.0時間 2月…22.0時間 	4	<ul style="list-style-type: none"> 職員による業務の精選、縮減の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員で3学期を見通した計画を立て、次年度に向けた見直しを実施する。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 業務の精選を行い、超勤の縮減につなげる。 退勤時間の徹底と定時退庁日の実施を継続する。 支援活動の継続で、学校の働き方改革につなげる。 	
				<ul style="list-style-type: none"> 職員による退勤時間の設定・実施の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員で月ごとの退勤時間、「定時退庁日」を設定し、実施する。 			4
				<ul style="list-style-type: none"> 学校支援活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会や保護者が、学校の要望に沿って、支援活動を行う。また、次年度に向けた取組の見直しを行う。 			